

## 平成29年11月定例弥彦村教育委員会会議録

弥彦村教育委員会は、平成29年11月7日午後1時30分弥彦村役場別館会議室に召集された。

1. 出席したものは、次のとおりである。

林 順一、渡邊一嘉、五十嵐ゆかり、阿部千恵

2. 出席した職員は、次のとおりである。

教育課長 小森順一、管理指導主事 堀 正士、教育課長補佐 本多 正

指導主事 渡部智和、教育課子ども教育係長 石川秀雄

3. 議題は次のとおりである。

(1) 開会宣言

(2) 会議録署名委員の指名について

(3) 定例教育委員会会議録の承認について

(4) 報告事項

報告第1号 10月定例教育行政報告について

(5) その他

1) 次期定例教育委員会の日程について

林教育長は、午後 1 時 3 0 分に開会を宣言し会議録署名委員に次の委員を指名した。

阿部委員

指名された委員は、これを承諾する。

教 育 長 1 0 月定例会会議録について意見はないか。  
(訂正なし)

教 育 長 教育長報告を報告第 1 号 1 0 月定例教育行政報告をもって代えさせていた  
だく。

(教育長より説明が行われ、引き続き教育課長より社会教育関係事業実施状況の報告が行われた。)

教 育 長 報告第 1 号について質疑はないか。

渡 邊 委 員 特別支援学校への進学で新潟市では市外からの入学を受け入れないというこ  
とだが、それは平成 3 0 年度から受け入れないということか。

教 育 長 平成 2 2 年頃から定員に空きがあれば受け入れるという方針だった。現在は  
新潟市内からの希望者だけで定員超過の状況であり、市立西特別支援学校に  
弥彦村や燕市等の市外から進学を希望しても受け入れていただけない。  
そうなると、三条市の県立月ヶ岡特別支援学校への進学、もしくは弥彦小学校  
での受け入れとなるが、月ヶ岡特別支援学校へは遠距離ということもあり通  
学の点で、小学校の特別支援学級ではサポート体制が特別支援学校の様には  
いかないことに保護者の懸念がある。

渡 邊 委 員 月ヶ岡特別支援学校へ過去進学した児童生徒は、個人で送迎していたのか。

教 育 課 長 特別支援学校への就学援助費の支給はあるが、それ以外村は支援していない。

五 十 嵐 委 員 特別支援学級に入らない子、たとえば学校を休みがちだった子に対して、事情  
がわからず学校を休んで楽をしているというやっかみや、なぜ特別支援学級  
に入らないのかという疑問が同年の子ども達にあるようだ。また、それに伴う  
教員の困り感もあるように感じる。そういったことに対してのマニュアルを  
作れないものか。

教 育 長 学校でも受け入れ態勢など十分留意しているがひとりひとり状況が違い、マ  
ニュアル化は難しい。

小、中学校と一緒に仲間意識が強く、ある意味同質を求める傾向が弥彦の子に  
はあると思う。けっして楽をするためでなく当事者も苦しんでいるので、広い  
視野を持ちそういったことを思いやれる子に育ててほしい。

五 十 嵐 委 員 エンジェル療育教室と協力し村内に療育施設を作りたいということだった  
が、その後の進捗を伺いたい。

教 育 長 正式な話があったわけではないため特に進んではない。ただ、村内に必要だと  
いう気持ちはある。

(他質疑なし)

教 育 長 その他について 1 1 月の行事予定について説明をお願いしたい。

(教育課長より説明が行われた。)

教 育 長 11月の行事予定について質疑はないか。  
(質疑なし)

教 育 長 その他についてなにかあるか。  
(教育課長より説明が行われ、教育長より平成29年度総合教育会議について、教育課長より新潟  
広域都市圏での利用協定について、指導主事より教育フォーラムについて追加で説明が行われた。)  
(質疑なし)

教 育 長 次回定例会の日程はどうか。  
(次回定例会を平成29年12月5日(火)に開催する確認がなされた。)

以上、予定された会議日程をすべて終了し林教育長の閉会宣言がなされた。

閉会時刻 午後2時20分

教育長 林 順一

会議録署名委員 阿部 千恵